

第10回IOC調整委員会会議での新型コロナウイルス感染症対策をめぐるやりとり

参考資料

- IOC調整委員会会議前日にバッハ会長が菅総理と電話で会談。安倍前総理と同様に緊密な連携をとり今後も進めていく。
- 新型コロナウイルス感染症対策を優先課題とし、日本国民・内外のアスリートから見て、安全・安心な大会として信頼を勝ち取れるかが重要。
- 日本だけでなく世界各地でスポーツスタジアムに賑わいが戻り始める。スポーツ界では着実に対策を講じており、安全に大会を実施することができることを示し始めている。
- 今回、新型コロナウイルス感染症対策を含む様々な進捗報告。非常に建設的なやり取り。国・都・組織委の三者会議は既に2回実施。
- IOC、IPCと日本双方で上手く情報共有し、考え方を相談しあって相互補完する関係を構築し、より効果的な対策につなげていく。
- 今後は議論から実践することが必要。そのために柔軟さと創意工夫が必要。
- アスリートに加えて、メディア等の他の大会関係者の入国措置についても検討が必要。